

【問い合わせ先】

石垣海上保安部交通課

課長 大城 幸喜

電話 0980-82-4842（内線 5091）



令和 6 年 1 月 24 日

石垣海上保安部

令和 5 年石垣管内における海難発生状況（速報値） ～ダイビング及びSUPの事故が過去5年間で最多～

- 船舶海難 14隻（前年比－6隻）、死者・行方不明者 7人（前年比＋7人）
 - 死者・行方不明者が過去5年間で最多
 - 運航不能による事故が8隻となり、過去5年間で最多
- マリンレジャー中の事故者 21人（前年比＋6人）、死者・行方不明者 8人（前年比＋1）
 - ダイビング中の事故者は8人、SUP中の事故者は5人となり、過去5年間で最多

事故の特徴等

【船舶海難】

- 死者・行方不明者については、全員がライフジャケット非着用である。
- 運航不能による事故では、機関故障が4隻と最も多く発生し、事故の原因は、老朽や不完全修理といった整備不良によるものが全体の半分以上を占めている。

【マリンレジャー中の事故】

- ダイビング中の事故者の約8割が50代以上であり、事故の原因は、病気や体調不良（前日の深酒による睡眠不足や疲労）によるものが全体の約7割を占めている。
- SUP中の事故者の約8割が初心者で、事故の原因は全て気象海象の不注意である。

今後の安全啓発活動

石垣海上保安部では、引き続き関係機関等と連携して安全啓発活動を実施します。

【船舶海難の防止】

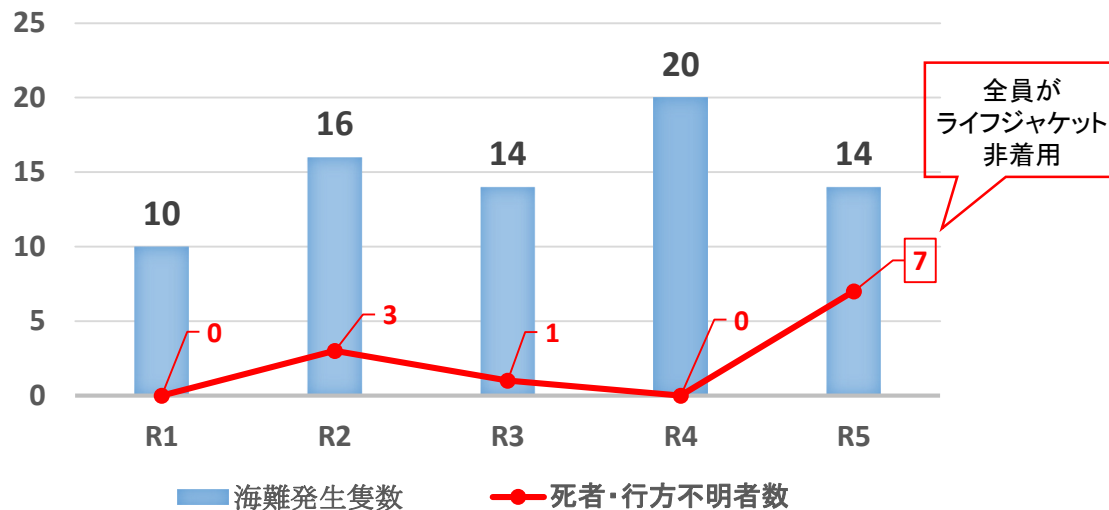
- 船舶の操船者に対する発航前検査の厳格実施及び整備事業者による定期的な点検整備の推奨のほか、ライフジャケット着用徹底などの安全啓発（漁港、マリーナ等）

【マリンレジャー中の事故の防止】

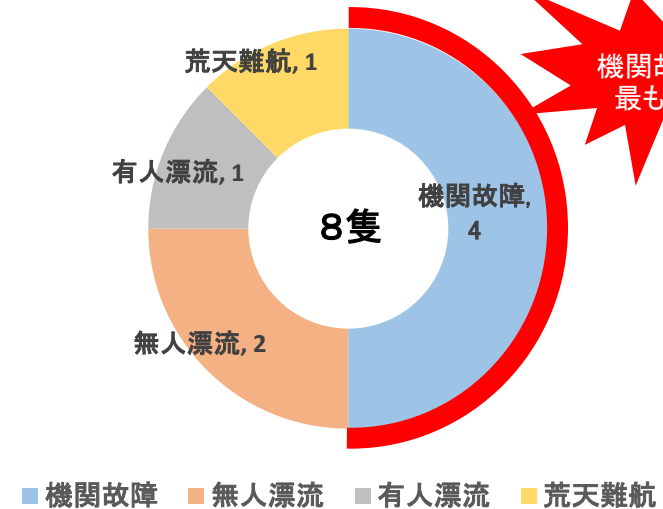
- 観光客等に対する体調及び気象海象の確認、SUPの基本4点セット（ライフジャケット、リーシュコード※、パドル、防水パック入り携帯電話）装着の推奨などの安全啓発（海水浴場、自然海岸、フェリーターミナル等）

※リーシュコードとは、ボードと体を結びつけるコードです。

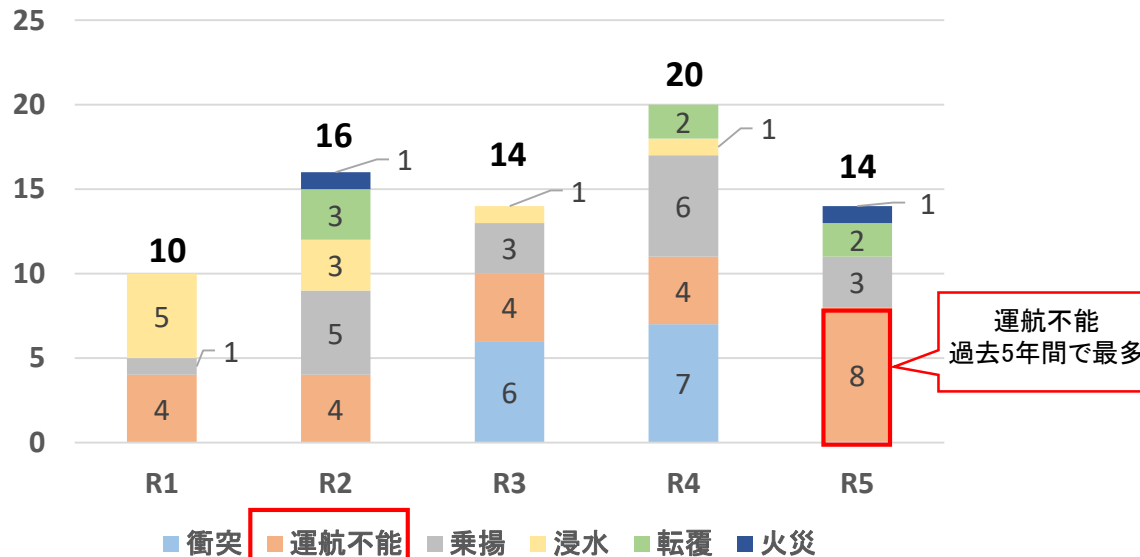
海難発生状況（年別・R1-R5）



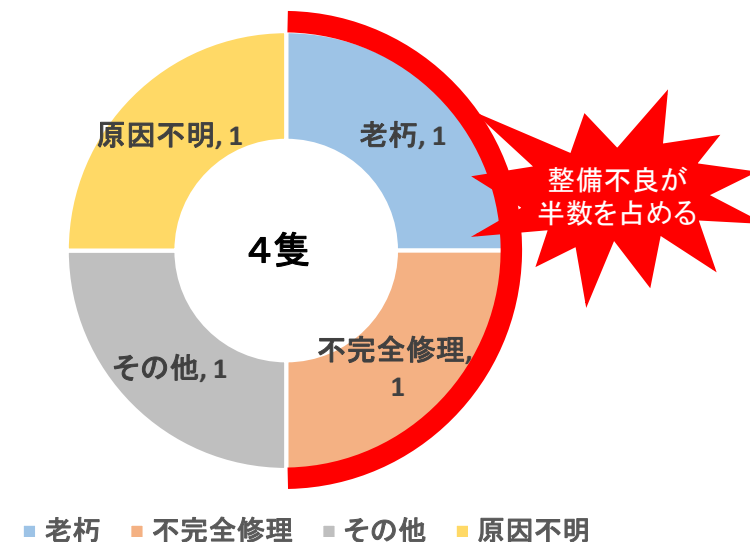
運航不能の内訳



海難種類別の発生状況（年別・R1-R5）

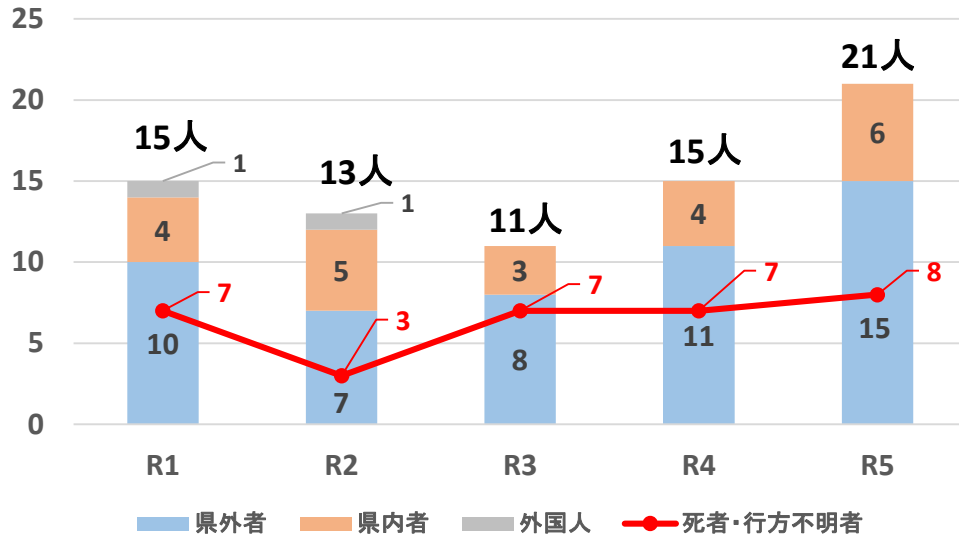


機関故障の原因別

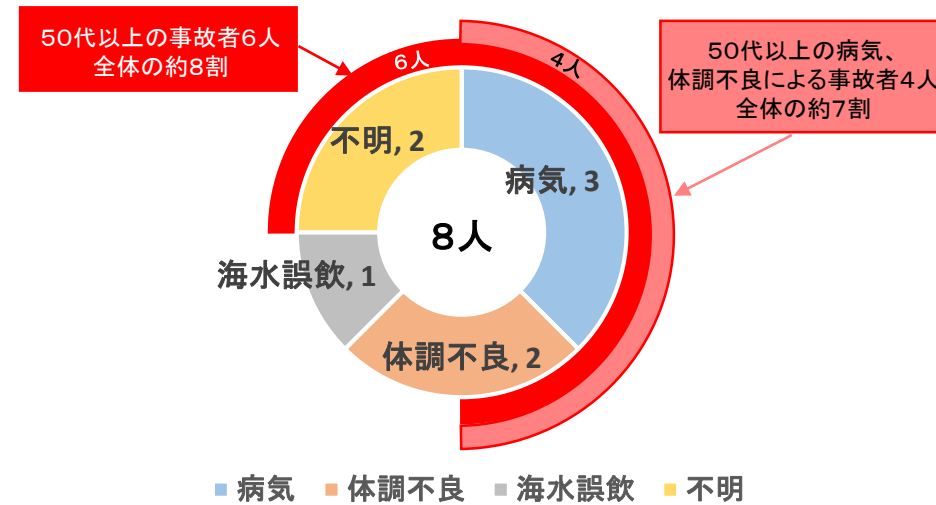


マリナー中での事故発生状況(速報値)

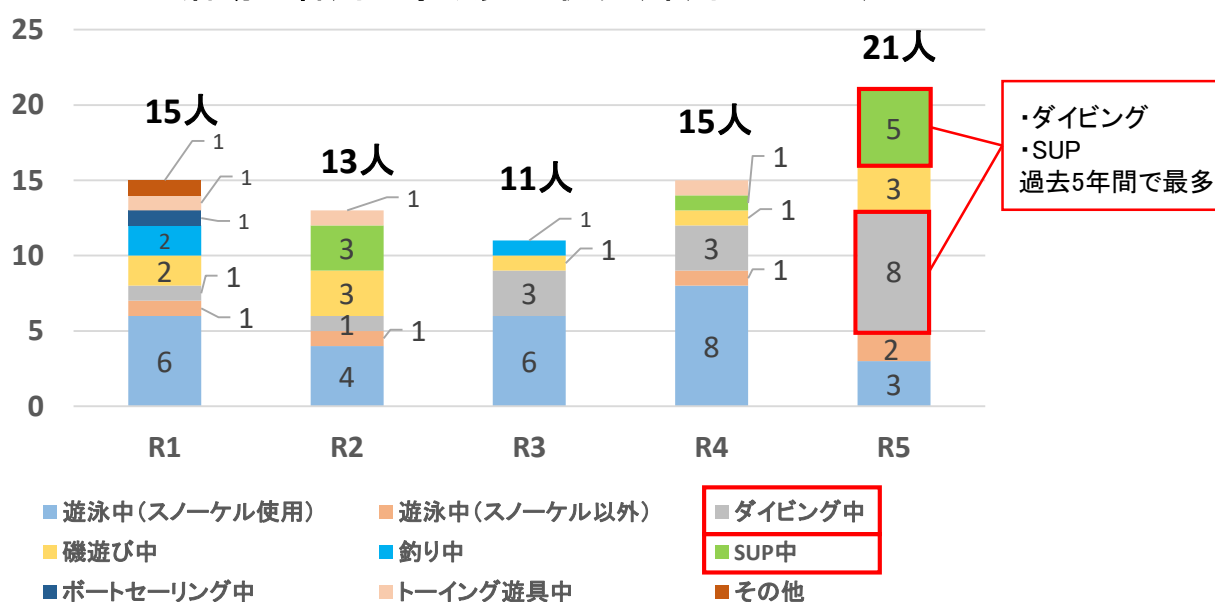
居住地別の事故発生状況(年別・R1-R5)



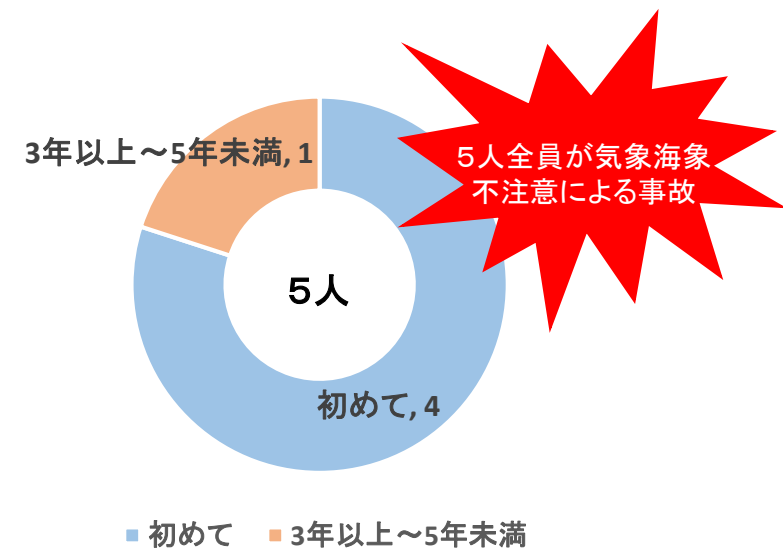
ダイビング事故者の原因別



活動内容別の事故発生状況(年別・R1-R5)



SUP事故者の経験年数





漁港での安全啓発活動



関係機関との安全啓発活動



ビーチでの海浜パトロール



フェリーターミナルでの安全啓発活動